

IMJ NEWS LETTER

「カイロプラクティック教育会議に参加して1」

一般社団法人日本カイロプラクターズ協会 会長
竹谷内啓介（たけやち けいすけ）

2014年10月30日から11月1日にかけて米国マイアミで開かれたWFC（世界カイロプラクティック連合）とACC（カイロプラクティック大学協会）主催によるカイロプラクティック教育会議へ参加してきました。今回のテーマは「変わりゆくヘルスケア環境に向けてのカイロプラクティック教育」であり、米国や日本を含め世界中のヘルスケア制度が大きく変化する状況で、今までの神経筋骨格系の障害に対する治療と予防以外にも患者のQOL（生活の質）向上など臨床と教育の質の改善について講演やワークショップがありました。

基調講演は、米国政府のヘルスケア改革の連邦諮問委員会であるPCORI（患者中心のアウトカム研究機関）副委員長およびBJCヘルスケアCEOのSteven Lipstein氏による「米国のヘルスケア改革がヘルスケア従事者へ与える影響」、退役軍人健康庁(VHA) 首席副次官補およびPCORI委員のRobert Jesse博士による「退役軍人病院での患者主導のケア」、ヨーロッパ医学教育学会(AMEE)事務局長のRonald Hardenダンディー大学名誉教授による「ヘルスケア従事者への未来志向の教育」でした。その他NIH（米国立衛生研究所）傘下のNCCAM（米国立補完代替医療センター）研究者など多彩な講演者による発表がありとても内容の濃い会議でした。

この会議では変化するヘルスケア環境への適応として、患者中心のケアの必要性、統合的な専門家間の協力関係の構築、エビデンスベースによる（科学的根拠に基づく）教育プログラムの提供、質の保証とともに教育内容を改善していくことなどが話し合われました。



PCORI 副委員長Steven Lipstein氏



VHA首席副次官補 Robert Jesse博士



ACCカイロプラクティック教育会議の様子



WFC会長Dr Greg Stewart



ACC会長Dr Brian McAulay

「カイロプラクティック教育会議に参加して2」

一般社団法人日本カイロプラクターズ協会（JAC）会員
東京カレッジ・オブ・カイロプラクティック（TCC） 外来部長
三輪健彦（みわ たけひこ）

マレーシア政府保健省が主催する「第8回国際伝統・代替医療シンポジウム（INTRACOM： International Traditional and Complementary Medicine）」（2014年10月30日～11月2日：クアラルンプール）に参加しました。マレーシア政府は伝統・代替医療の充実に力を入れていて、今年4月にはカイロプラクターの研修システムを検討するワークショップが政府主導で開催されました。今回のシンポジウムのカイロプラクティック・セッションでは、マレーシアの国際医療大学（IMU： International Medical University）カイロプラクティック学科のPeter Diakow教授がカイロプラクティック教育や臨床に関するプレゼンを行いました。またカイロプラクティックの独自性、有効性と共に統合医療を含めた他の代替医療との連携についてのディスカッションが行われ、今回のシンポジウムで得た有益な情報を国内でも伝えていきたいと思います。またマレーシア政府保健省のスタッフやIMU講師陣との交流を通して、東京カレッジ・オブ・カイロプラクティック（TCC）講師陣の伝統・代替医療への理解が一層深まることも期待されます。



参加した筆（写真左）



：シンポジウムの様子